



梅雨の季節に入りましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

日本到着後、これまで、新潟、シオンヶ丘キリスト教会、大阪、吹田聖書福音教会にて、合わせて3回の賛美コンサートをさせていただきました。それぞれ、主の導きの中で主を賛美し証しをさせていただきました。そして、主ご自身が多くの方々の心に語りかけてくださいました。（写真：吹田聖書福音教会）



いつも思うことなのですが、私の働きは目に見える氷山の一角にすぎず、大きな土台は、皆様が捧げて下さる祈りとご支援です。ほんとうにありがとうございます！

## ●カーネギー物語

ところで、先日、滞在先で書き物をしながら、部屋の隅に目をやりました。そうしましたら、「カーネギー」という本が目に入りました。それは、30冊からなる「少年少女信仰偉人伝」の中の一冊でした。私が一時滞在させていただいているマンションの持ち主の、今は大きくなられたお子さんたちが小さい時に読まれたものなのでしょう。5月にコンサートをさせていただいたニューヨークのコンサート・ホールを建てたカーネギーがクリスチャンであったことを初めて知って驚き、さっそくその本を読んでみました。今日は、皆さんにその概略をご紹介します。

アンドリュー・カーネギー（1835~1919）は、1835年、スコットランドの貧しい家庭に生まれました。一家は、1848年に、仕事を求めてアメリカに渡りました。カーネギーは、家族を助けるために、ペンシルベニア州の木綿工場で糸巻き少年として働き始めました。小さい時から非常に賢く、人々に愛されたカーネギーは、ペンシルベニア鉄道で働くようになり、ピッツバーグ局の監督者と、順調に昇進してゆきました。ある日、鉄道の通る木橋が焼けて幾日も鉄道が不通になったのを見て、カーネギーは、これからは、鉄橋の時代と見通し、鉄橋を造る会社を設立しました。鉄鋼王となったカーネギーは、1901年にそれを売却し、慈善事業に専心するようになりました。

1901年、250万ドル（当時約750億円）を投じて、お世話になったピッツバーグの長老教会をはじめ、まわりの町々の教会にオルガンを贈りました。同じ年、625万ドルを投じて、ニューヨーク市に69の公共図書館を建てました。1902年、ワシントンD.C.で一億ドルを投じてカーネギー財団を設立。ニューヨークのカーネギー・ホールは、すでに1891年に、200万ドル（約600億円）を投じて建てられました。1904年には、炭坑被害者遺族のために、500万ドルを投じて「カーネ

ギー善行基金」を設定。その後も、「カーネギー教育振興財団」「鉄道恩給基金」「カーネギー国際平和基金」「カーネギー工業大学」などを作りました。

彼の願いは、「この地上にではなく、天に宝を積む」ことでした。彼は、著書『富の福音』の中で、裕福な人は、その富を、浪費のためではなく、社会が良くなるために使うべきであると述べています。そしてカーネギーは、1919年に84才で死去するまで、彼の全財産の9割を慈善事業に投与したのでした。

このような背景で建てられたニューヨークのカーネギー・ホールで、先月コンサートをさせていただいたことは、不思議な神の導きであると思いました。しかも、私のカーネギー・リサイタルでのテーマは、囃らずも「天のみ国」であったのです。皆様のお祈りとご支援にも心から感謝申し上げます。

---

## ●これからのコンサートのためにお祈りください

**6月 24日（土） MB 寝屋川キリスト教会 14:00~16:00**

連絡先：教会 072-828-5866

**7月 1日（土） 長津田キリスト教会 14:00-15:30**

連絡先 045-981-3349

**2日（日） 川口福音自由教会 14:30-16:00**

連絡先：教会 Tel.048-253-0434

**7日（金） ルーマニアの孤児、貧民のためのチャリティー・コンサート**

**19:00-** 連絡先：札幌聖書キリスト教会 011-874-6697

明日は、MB 寝屋川キリスト教会の賛美コンサートです。その後、7月から関東、札幌を回ります。どうぞ、私の霊・肉・声が守られ、最後まで主の前に砕かれた心を持って主を賛美証し、大胆に福音をお伝えすることができますよう、お祈りお支えください！

---

暑さの中、皆様のご健康が守られますよう祈ります。

そして、日々主の喜びと祝福がありますようにと祈っています。

主にあって

工藤篤子

---

**P.S.**

1. クリスマン・トディーに、5月のアメリカ伝道の記事が掲載されましたので、ご覧下さい。

<http://www.christiantoday.co.jp/news.htm?id=979&code=cu1>

2. 今日、スイス日本語教会の松林さんから以下のような号外メルマガをいただきましたので、皆様にもお分かちさせていただきます。

田辺牧師（フランクフルト日本語教会、スイス日本語教会牧師）が制作にかかわっておられた WM で活躍中のクリスマン・サッカー選手の証しを 日本語で聞くことができます。電話ですと、+49（ドイツ）・6441・957555・16、インタネットですと：<http://www.glaube24.de/index.php?node=1273>です。そして、サッカーボールが当たる籤に応募してみてください。（ドイツ語がお分かりにならない方のために補足いたします。上記のインターネットを開き、その左下の欄の Japanisch をクリックすると、日本語がお聞きになれます。）